

# INASHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022 RI会長  
シェカール・メータ  
<インド (西ベンガル州) >

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



第1611回 リモート例会 令和4年2月22日(火)



■ 点 鐘 12:30

■ 会長談話 池上幸平会長



『現代の顔を覆う二つの仮面』という記事を読みました。履歴書に貼ってある写真がきれいすぎて「本当に写真と同じ人？」と思ってしまう。同じようなことが自分の会社にもありました。会社の面接で履歴書が届いておりましたので見ておきました。面接が終わりましたが、条件が合わないので流れたと報告がありました。とても感じの良い写真写りの人でした。同じ人なのかな？と思いましたが、事務所で聞いてみたら、今は自分の希望どおりに加工ができるとのことでした。自分も矢島さんの所に写真を撮りに行けば、当たり前のように鼻を高く、目を大きく、顔の色をもっと白く、3割も4割も見た目が良くなり直すところばかりです。基本的に慣れていませんので、写真を撮るときだけ目を大

きく見開いたり、背伸びをしてみたり、お腹を引っ込めてみたり。姑息な手を段取っていましたが一種の「嘘」を作っていたのかなと思います。基本的に現物は何も変わりません。

今の若者はスマホで常に見られているので、見られるのが前提なのかなと思います。だからできるだけ良い画像を残し姑息とはされない、前向きな努力であり批判されることはないと割り切っているのかなと感じます。

ここ3年位コロナの影響で、外へ出るときは必ずマスクを常時付けているのがマナー・ルールになっていて外へ出ます。本当の相手の素顔を見たこともない人がこれからは世の中になるかもしれません。近い将来「ちょっとマスクを取って素顔を見せてくれない？」という言葉はセクハラになるかもしれません。

あらゆる場面においても、仮面の奥から（真実）を読み取る『眼』が私達にはもっと、もっと必要になるのではと感じました。

#### ■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



#### ■ 委員会報告

##### ・2月19日(土) 地区インターアクト委員会・顧問教師連絡会の報告 井上修地区インターアクト委員



インターアクト顧問教師・地区委員協議会が参加19名で2月19日(土) オンラインで15時から17時まで行われました。

桑澤ガバナーも出席され、2600地区の地区大会の概要等を説明されました。

飯沼委員長より、今後の事業計画の確認があり、第29回インターアクト地区大会は6月26日・アゼリア飯綱で行われる予定です。加えて、危機管理の面から、危機管理条項で県外の研修は地区の承認必要との事。余談としてインターアクト地区として・・予算過剰に残あり、どんどん企画して欲しいとか。

各校・各委員の個別発表で・・当クラブは下井委員の今迄の業績を継承する体制を取る予定と発表。これには桑澤ガバナーも絶賛。インターアクト生の育成には親でも先生でもない大人（ロータリアン）の関与が絶対的に必要という、下井委員と同じ意見を力説されていました。実行に向けて皆様の協力をお願い致します。

##### ・2月20日(日) 上伊那・下伊那グループ合同会員増強委員会の報告 宮下健会員増強・プログラム委員長



去る2月20日（日）13:00よりオンラインにて開催されました。

#### ◆議題

- ①各クラブの会員増強活動状況について（クラブの活動状況）
- ②地区会員増強・維持活動計画の再検討について

#### ◆当クラブからの報告

- ①クラブフォーラムで既存候補者を棚卸し、入会可能性の有無を再共有した。
- ②40代の候補者には入会へ向け根回しを実施した。
- ③女性会員増強については、この下半期で伝手を当り女子会開催に至りたい。

まず入会に結び付ける事よりもロータリー活動を知って頂く場としたい。

#### ◆他クラブからの報告で感じた事

以前、クラブフォーラムで入会に至るまでの問題点をいくつか上げさせて頂いています。「会費・例会頻度・同世代や同性が少ない」と言った問題です。

特に会費の問題で飯田東RCでは“準会員制度”を取入れ会費を7割くらいとし、正会員に成るまでの救済措置としているとの旨、報告していました。良いか悪いかは別として、変化を取入れ行動に移す事はクラブとしても大切な事だと感じました。

・卓話

市川修次職業・社会奉仕委員長



本来ですと、外部からお願いして卓話を行う予定をしておりましたが、コロナ禍でもあり、私の方でさせて頂きます。今私共で取り組んでいる「大企業の副業プロ社員活用によるDX化への取組」という事で話をさせて頂きます。

2018年に厚生省が「モデル就業規則」の中の「副業禁止規定」が削除されました。今国は大企業の人材をもっと活用する、活躍の場を広げて経済を活性化する方向に向かっていきます。私共中小企業は人の採用に大変苦労していますが、こんな所に優秀な人材を活用できる、そんなチャンスが生まれてきた、そんな話をさせて頂きます。

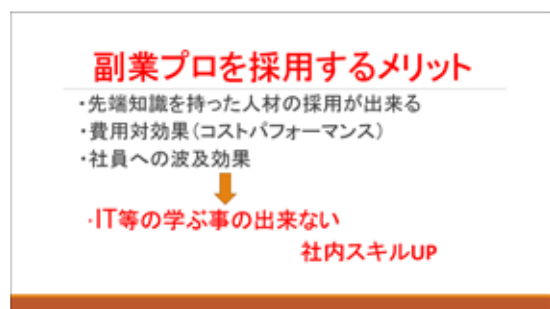
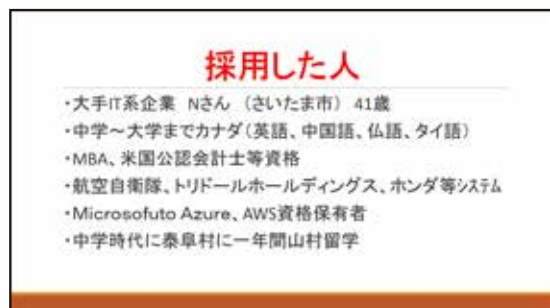
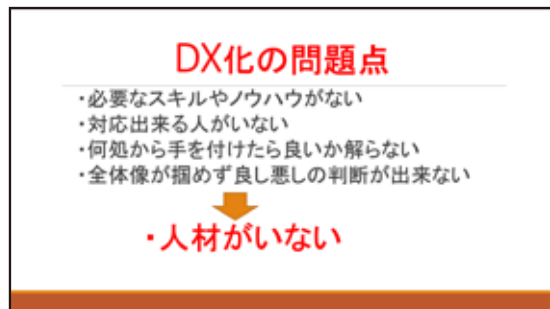
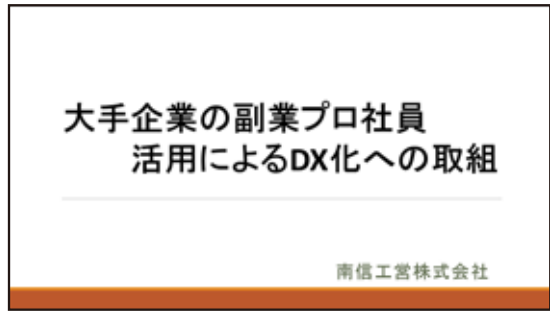
簡単に会社の紹介させて頂きます。本社伊那市、支店が諏訪と山梨県南にあり、昭和48年設立、今年で創業50年目。創業者は小澤一さん伊那中央RCのチャーターメンバーかと思えます。社員数36名、取扱商品は、建物の外回りに絡む工事。施工例です。2～3年ほどまえに施工させて頂いた「上伊那クリーンセンター」、昨年施工した新潟県の工場。諏訪市の老健施設。ユリの部分は「オリジナルファッション」の工事。「アル信本店のタイル脱落防止の工事」、「10年毎に全面打診調査」が義務付けられています。タイルを張り包む事で「全面打診調査」は必要なくなるという工事です。

本題です。経営する中で私どもの脅威のひとつに競合する会社は4社、規模や財務・人材、政治力、どれも数段上の会社ばかりです。そんな中で我が社が戦っていく為に「生産性の向上」「仕事を効率化」と考えた訳です。その為にDX化が不可欠、「DX化の為には人材確保」となりますが、大きな問題として「人材不足」。「社員としての募集」を行った事がありますが力量が判断出来ない、外部の会社をお願いした事もありますが、こちらの要求に対してうまく噛み合わない、そんな事も経験しました。

一昨年9月にあるセミナーで「副業人材」を知り斡旋する会社に連絡し募集を行いました。2週間の期間で11名の方が応募、その中から3名に絞って1次面接2次面接を行い、最終的に決めさせて頂きました。

契約させて頂いた方は、埼玉に住んでいるNさん。5ヶ国語堪能、米国公認会計士資格、Microsoft AzureやAWSの資格。泰阜村に山村留学しておりこれが一番の決め手でした。契約後、DX化推進の為の組織を設置、Microsoft 365の導入、クラウド化は昨年6月に終了しました。これからの取組として、営業活動のDX化、AIの活用、事務処理の電子化、又、社外人材の活用を今後も考えていこうと思っています。副業プロを採用するメリットとして、先端知識を持った人材を採用出来る。費用対効果、費用対効果は大きいと思っています。社員への波及効果は大きいと思っています。

最後に、国として大企業社員の活用を進めていく中で、



内閣府のWebサイト「副業・兼業での大企業の人材活用推進にむけて」というポータルサイトがありますが、その中に我が社が事例として取り上げられる予定、と今のところ聞いています。

#### ■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 冬季オリンピックも終わり、18個のメダルを取れた事、大変におめでとうございます。素晴らしい感動をありがとうございました。  
市川さん、今日は卓話をよろしくお願いします。
- ◆熊谷健 いろいろバタバタしていて、ニコボックス入れるのを忘れていました。  
市川さん、今日はよろしくお願ひ致します。
- ◆市川修次 今日は卓話を行います。宜しくお願ひ致します。

#### ■ 出席報告

会員数45名      出席免除会員5名      長欠会員1名      本日出席率100%  
前回出席率 修正なし

#### ■ 点 鐘

13:00

次回例会  
3月1日(火) 点鐘/12:30 リモート例会  
・会員卓話:小川秋實会員